

東京都知事から福島第一原子力発電所の事故に伴う 情報提供の協力について本学に感謝状

10月25日、石原慎太郎・東京都知事から、福島第一原子力発電所の事故に伴う都民への情報提供に関する協力について、本学に感謝状が贈呈されました。

東京都では、東京都健康安全研究センターが環境放射線の測定ならびに測定結果の情報公開を行っていました。東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故により、都民の環境放射線情報への関心が急激に高まり、環境放射線測定結果の情報公開サーバ(<http://monitoring.tokyo-eiken.go.jp/>)に処理能力を大幅に超えるアクセスが集中し、情報提供に支障を生じました。

同センターからの協力要請に対して、本学の情報社会基盤研究センターの宇多 仁(うだ さとし)助教らは、以下のような協力を実施してきました。

- 1) 本学で運用しているミラー・サーバ(<ftp:jaist.ac.jp>)を用いた情報発信機能の代替
- 2) 東京都のマスター・サーバの性能改善・増強の方策に関する助言

具体的な協力内容は、以下のとおりです。

- ・3/16 に東京都健康安全研究センターから協力の要請があり、同日、本学サーバを用いたミラーの提供を開始。
- ・翌 3/17 からは、本学設置のサーバを一次配布元として同情報提供を実施(東京都・健康安全研究センターの Web ページのみならず、東京都のトップページなどからのリンクも全て本学のサーバに向けられる)。
- ・この間、東京都のマスター・サーバ自体の性能改善・増強の方策に関する助言を実施。
- ・6/22 に東京都のサーバの性能改善・増強が完了するまでの間、本学サーバを一次配布元として情報提供を継続。

■情報社会基盤研究センター・宇多 仁 助教のコメント:

本学では従来より、教職員・学生・OB によるボランティア組織で、主にオープンソースソフトウェアの日本国内ユーザーへの提供を行うミラーサーバ <ftp:jaist.ac.jp> を運用してきました。情報社会基盤研究センターでは、このような高負荷サーバの運用を通じてノウハウを蓄積し、学内情報環境の構築運用に活かしてきましたが、この度の未曾有の災害においても、情報発信の面で僅かなりとも貢献できたことを光栄に思っています。



贈呈式

(左)東京都福祉保健局 櫻山技監、(右)宇多助教



感謝状